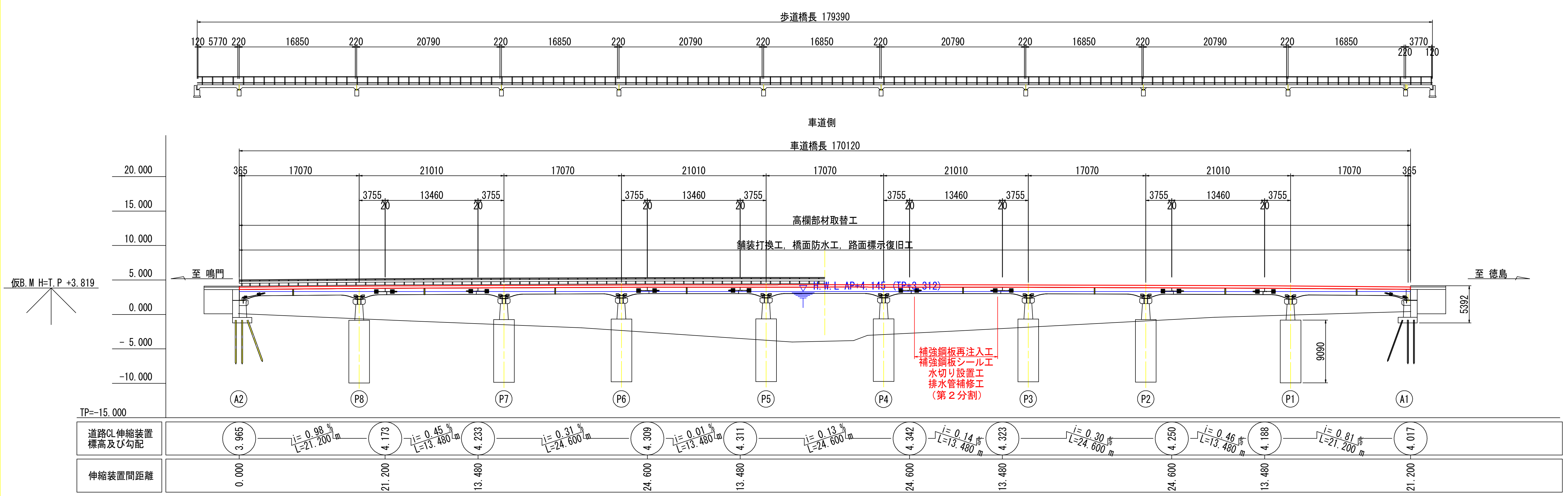
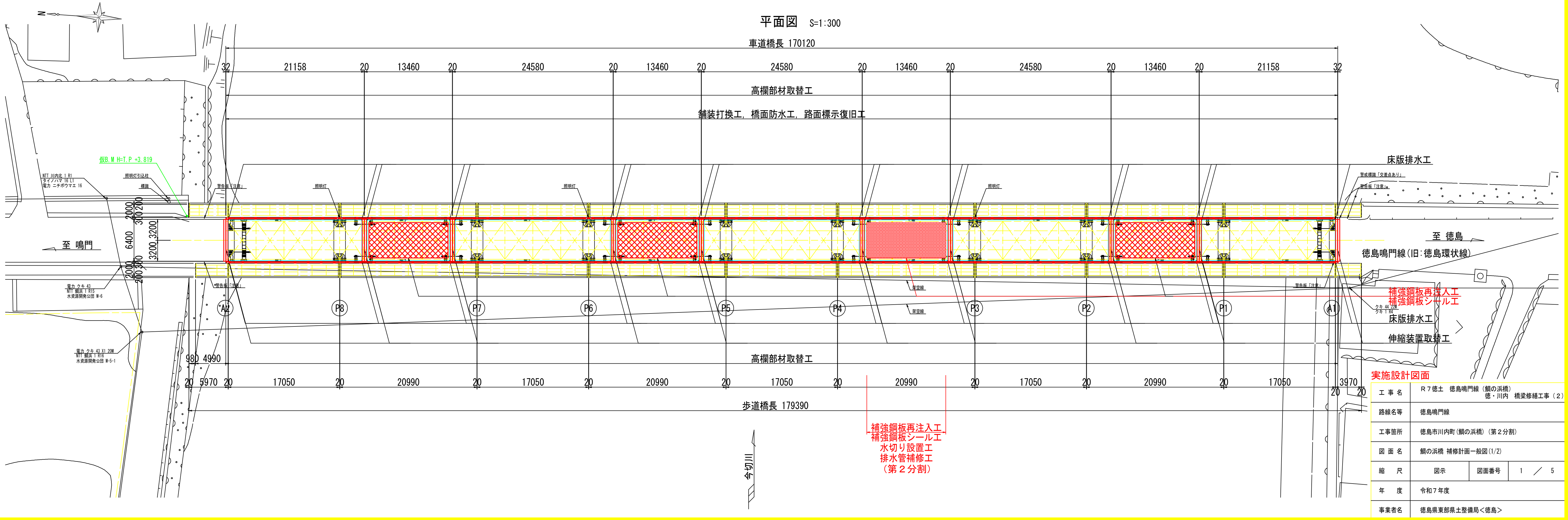
鯛の浜橋 補修計画一般図(1/2)

側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



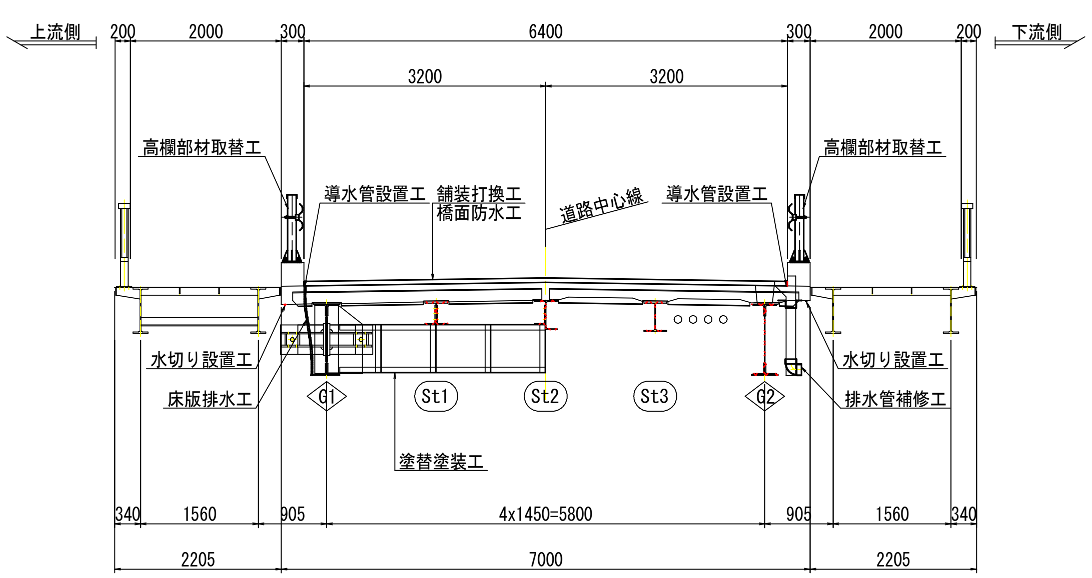
実施設計図面

工事名	Ｒ７徳土　徳島鳴門線（鯛の浜橋） 徳・川内　橋梁修繕工事（２）		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市川内町(鯛の浜橋)（第２分割）		
図面名	鯛の浜橋 補修計画一般図(1/2)		
縮尺	図示	図面番号	1 ／ 5
年度	令和７年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

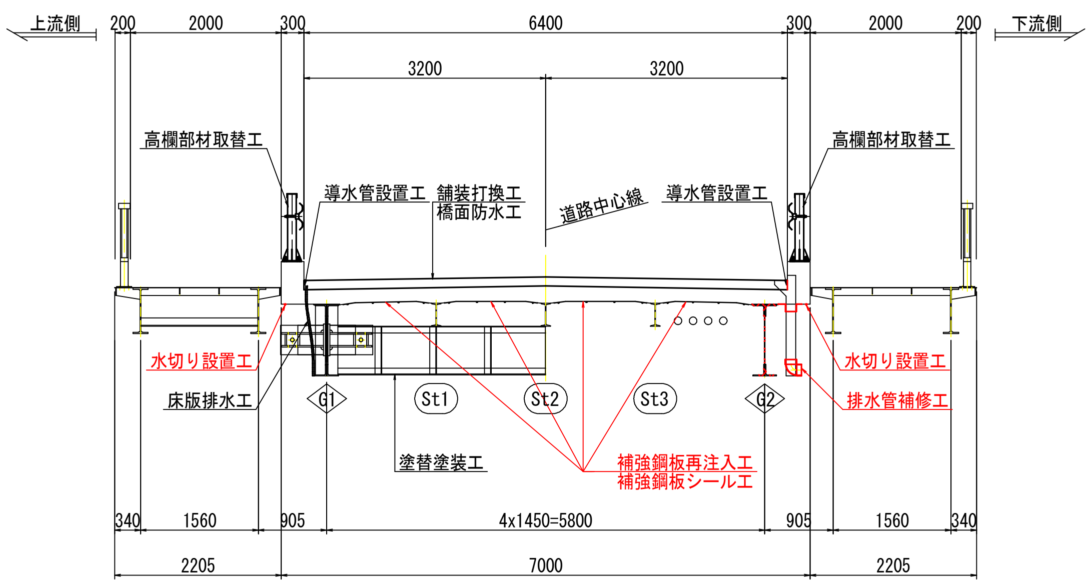
鯛の浜橋 補修計画一般図(2/2)

上部工断面図 S=1:50

定着桁部

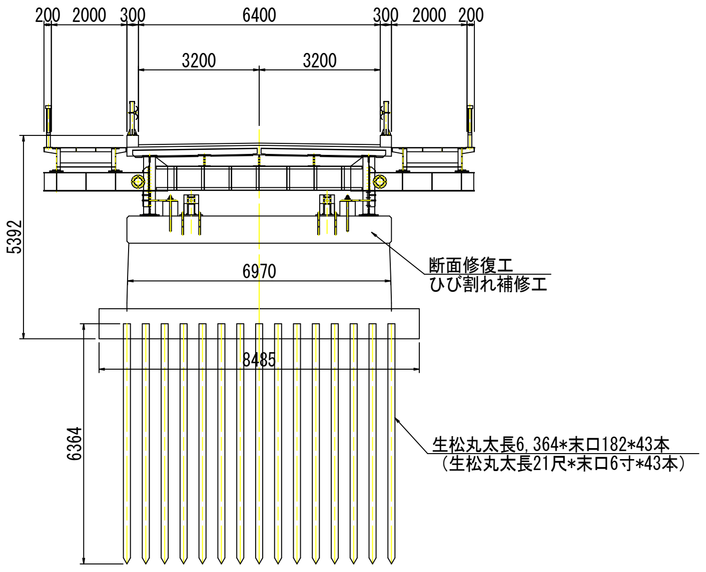


吊り桁部

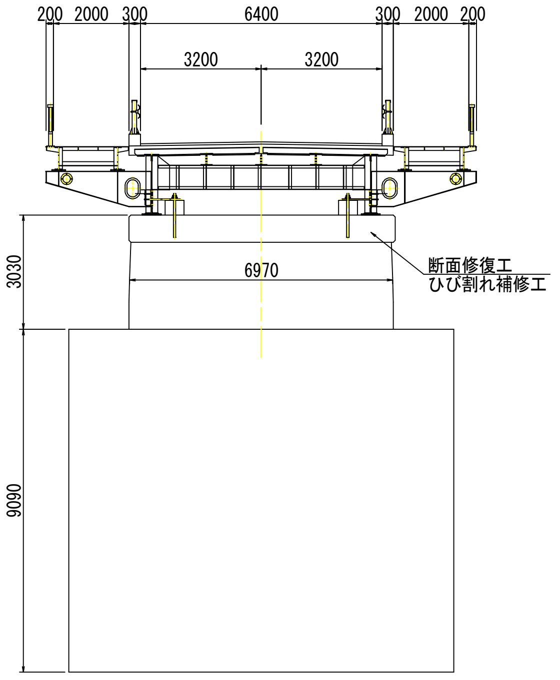


下部工正面図 S=1:100

橋台正面図



橋脚正面図



注記)
下部工の補修計画内容については，過年度業務を参照のこと。

鯛の浜橋 補修工事内容一覧

橋梁	工種	名称	仕　　様
道路橋	橋面工	舗装打換工	基層：改質III型-W，表層：改質III型-W
		橋面防水工	塗膜系防水，導水管
		区画線工	中央線，外側線
		床版排水工	スラブドレーン同等品
		伸縮装置取替工	表面鋼製荷重支持型
		高欄部材取替工	Gr-B-2B 笠木付き メッキ仕様
		排水管補修工	塩ビ管90° エルボ，FRP紫外線硬化シート
		水切り設置工	後施工型水切り板(軟質PVC)
	橋体工	補強鋼板再注入工	超低粘度型湿潤面用エポキシ樹脂
		補強鋼板シール工	エポキシ樹脂シール材
		塗替塗装工	Rc-I塗装系(湿式塗膜剥離剤，循環式ブラスト工法)
		断面修復工	ポリマーセメントモルタル，亜硝酸リチウム添加

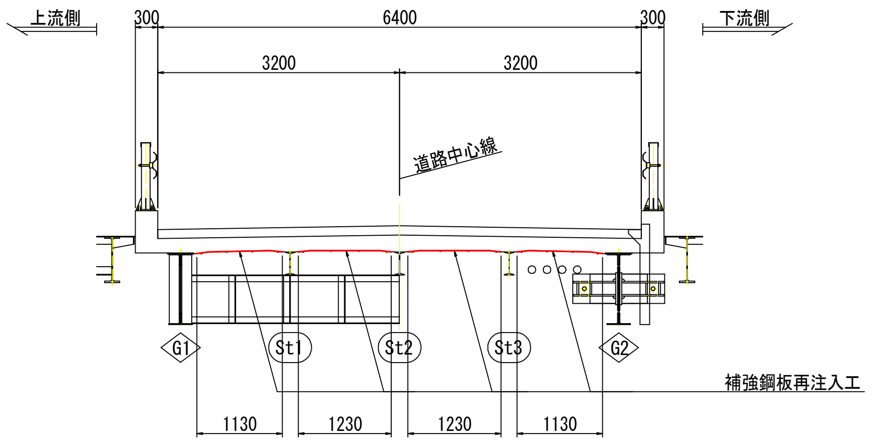
注記)
1.施工前に調査を実施し，施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2.寸法は，現場実測後決定する。

実施設計図面

工 事 名	Ｒ７徳土　徳島鳴門線（鯛の浜橋） 徳・川内　橋梁修繕工事（２）		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市川内町(鯛の浜橋)（第２分割）		
図 面 名	鯛の浜橋 補修計画一般図(2/2)		
縮　　尺	図示	図面番号	2 ／ 5
年　　度	令和７年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局＜徳島＞		

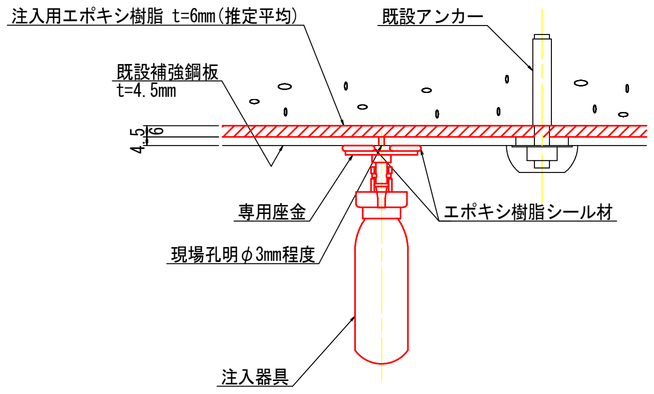
鯛の浜橋 補強鋼板再注入工詳細図(1/2)

吊り桁部断面図 S=1:50

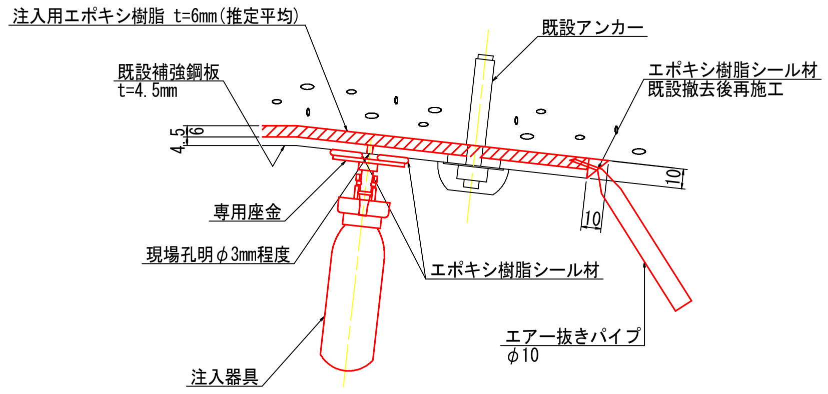


補強鋼板再注入工詳細図 S=1:2

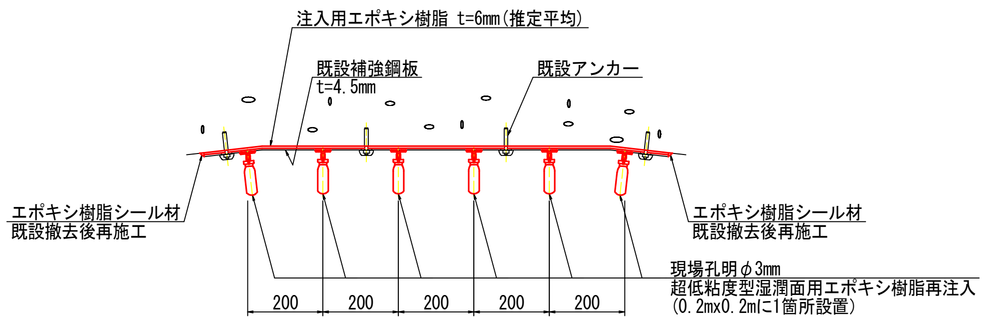
標準部



端部

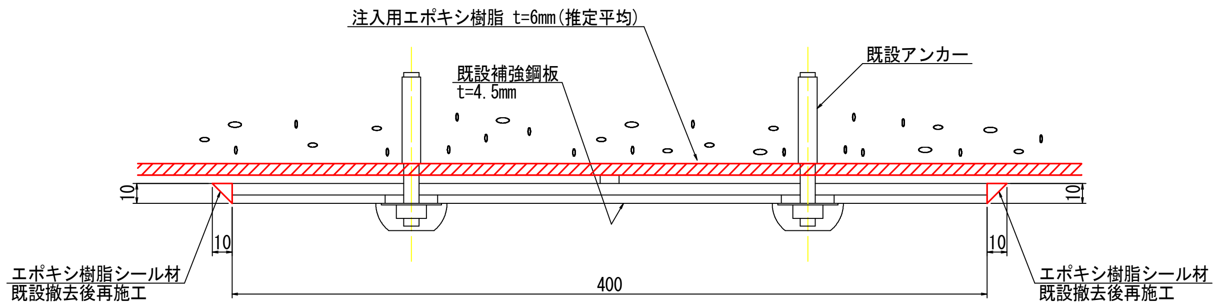


注入器具設置図 S=1:10



1.0m2当たり注入器具本数(0.2mx0.2mに1本)
N=1.0x1.0/(πx0.10^2) = 32本/m2

添接部

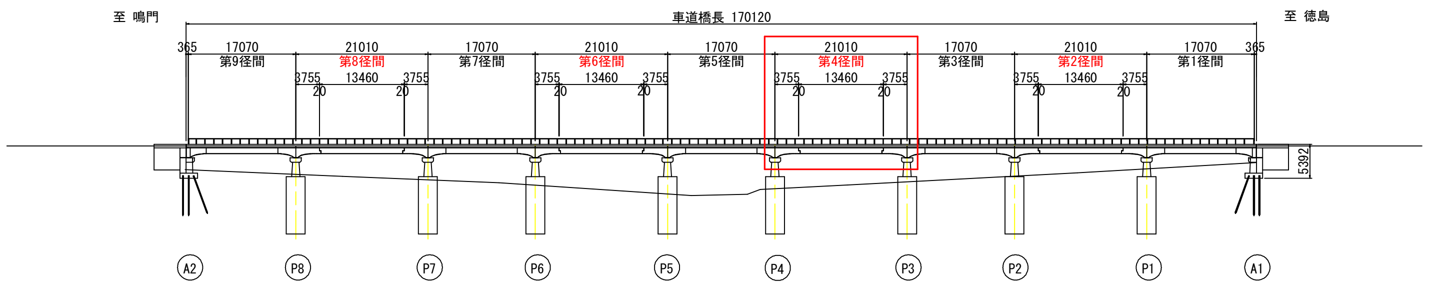


概略施工手順

工程	内容
作業準備	注入材の漏出を防止するため, 補強鋼板端部の既設シール材を撤去し, シール材を再施工する。
再注入孔削孔	点検ハンマー等で空洞(うき)範囲を確認しながら, 100mm～200mm間隔でマーキングする。 ハンマードリルにて, φ3mm程度削孔する。 削孔深さは, 床版コンクリートまでとする。(補強鋼板4.5mm + 樹脂6.0mm = 11mm程度)
シール工	ワイヤーブラシ等で清掃を行い, 樹脂シール材を用いて専用座金を取り付ける。 専用座金の中心が削孔の中心になるよう圧着させる。
再注入工	注入器具内に注入材を充填し, 注入器具を専用座金に取り付ける。 注入は, 基本的に片側および低い方から注入する。 注入時は, 点検ハンマー等で叩きながら注入材の移動を確認する。 隣接する専用座金から注入材が漏出したら漏出した箇所に注入器具を取り付ける。
仕上げ工	注入材硬化後, 注入器具, 専用座金を回収する。 専用座金部のシール材はサンダー等で除去する。
後片付け	

全体側面図 S=1:600

補強鋼板再注入工対象径間



注記)
1.施工前に調査を実施し, 施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。

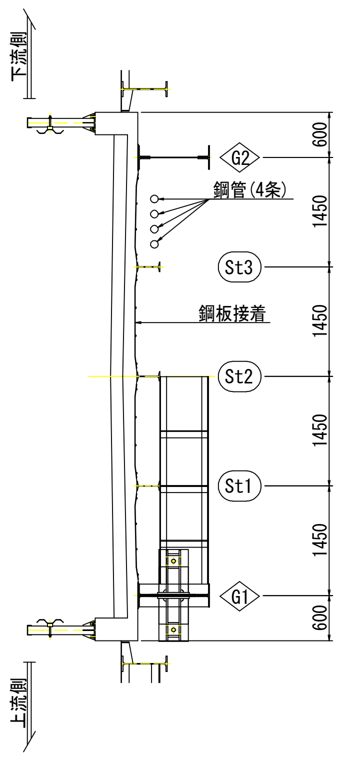
実施設計図面

工事名	R7徳土 徳島鳴門線(鯛の浜橋) 徳・川内 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市川内町(鯛の浜橋)(第2分割)		
図面名	鯛の浜橋 補強鋼板再注入工詳細図(1/2)		
縮尺	図示	図面番号	3 ／ 5
年度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

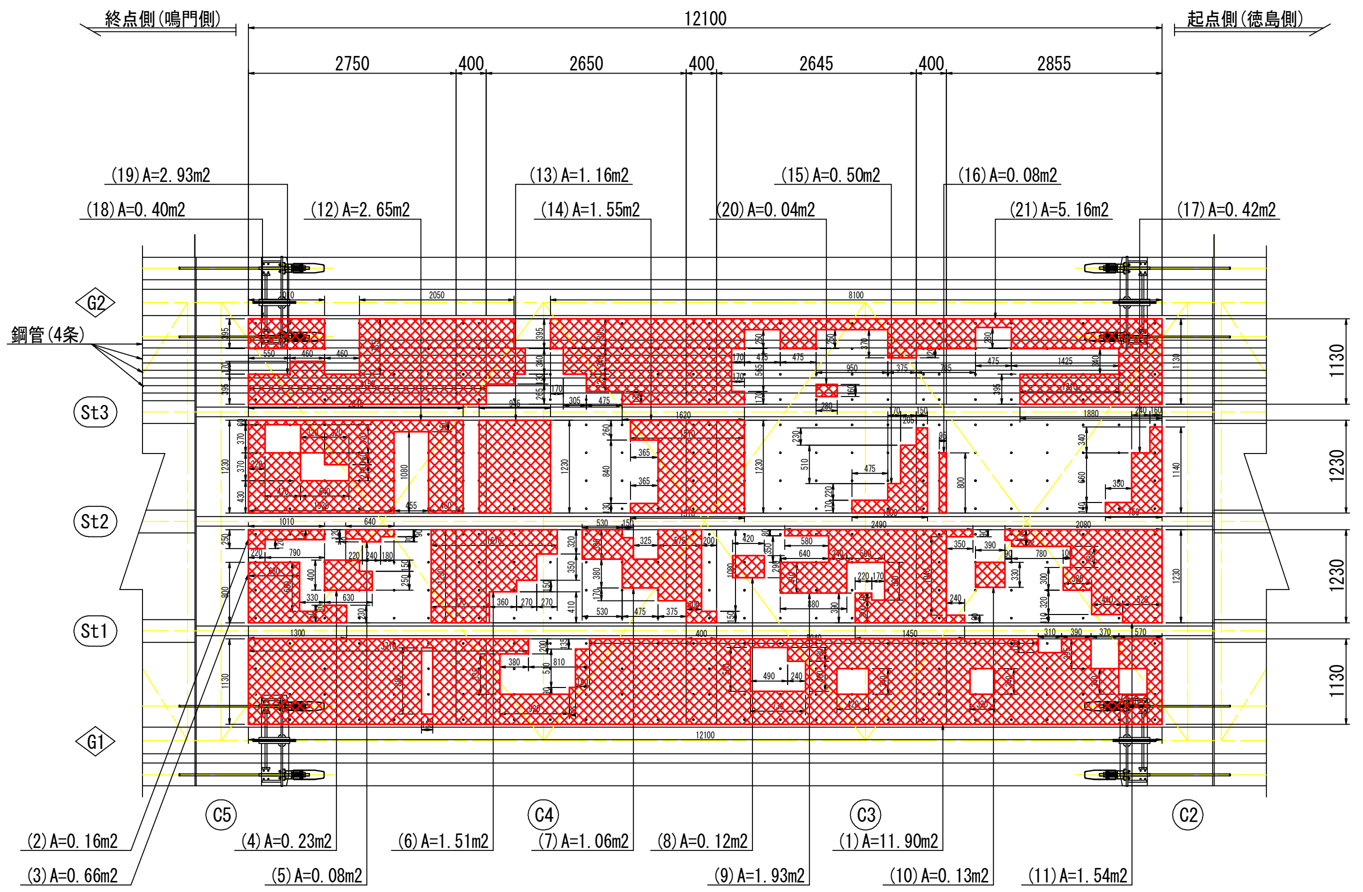
鯛の浜橋 補強鋼板再注入工詳細図(2/2)

第4(P3-P4)径間

上部工断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



今切川

：補強鋼板再注入範囲

補強鋼板再注入工

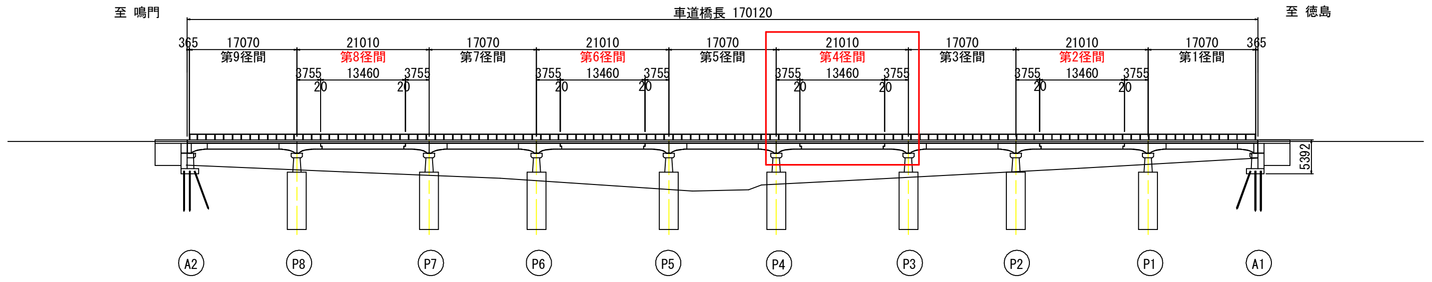
G1-St1		St1-St2		St2-St3		St3-G2	
番号	面積(m2)	番号	面積(m2)	番号	面積(m2)	番号	面積(m2)
(1)	11.90	(2)	0.16	(12)	2.65	(18)	0.40
		(3)	0.66	(13)	1.16	(19)	2.93
		(4)	0.23	(14)	1.55	(20)	0.04
		(5)	0.08	(15)	0.50	(21)	5.16
		(6)	1.51	(16)	0.08		
		(7)	1.06	(17)	0.42		
		(8)	0.12				
		(9)	1.93				
		(10)	0.13				
		(11)	1.54				
小計	11.90	小計	7.42	小計	6.36	小計	8.53
合計	34.21 m2						

エポキシ樹脂シール材

位置	延長(m)	備考
G1-St1	12.100x2+1.130x8=33.24	
St1-St2	12.100x2+1.230x8=34.04	
St2-St3	12.100x2+1.230x8=34.04	
St3-G2	12.100x2+1.130x8=33.24	
合計	134.56	

全体側面図 S=1:600

補強鋼板再注入工対象径間



注記)
1.施工前に調査を実施し，施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。

実施設計図面

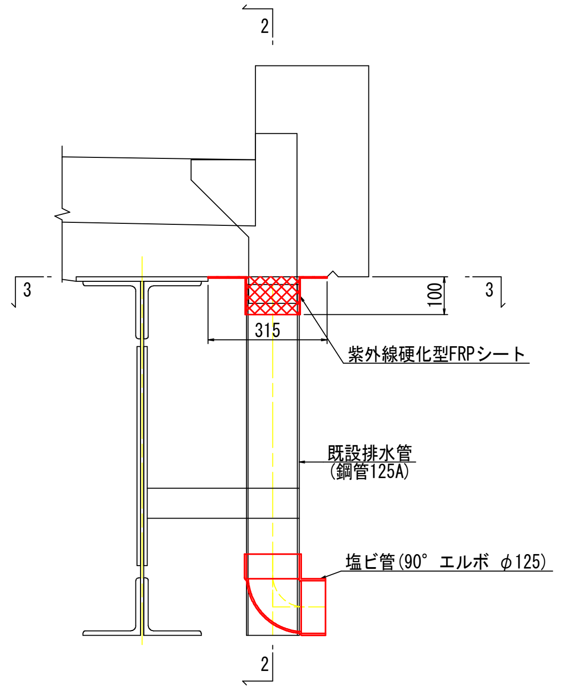
工事名	R7徳土 徳島鳴門線(鯛の浜橋) 徳・川内 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市川内町(鯛の浜橋)(第2分割)		
図面名	鯛の浜橋 補強鋼板再注入工詳細図(2/2)		
縮尺	図示	図面番号	4 ／ 5
年度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

鯛の浜橋 排水処理補修工詳細図

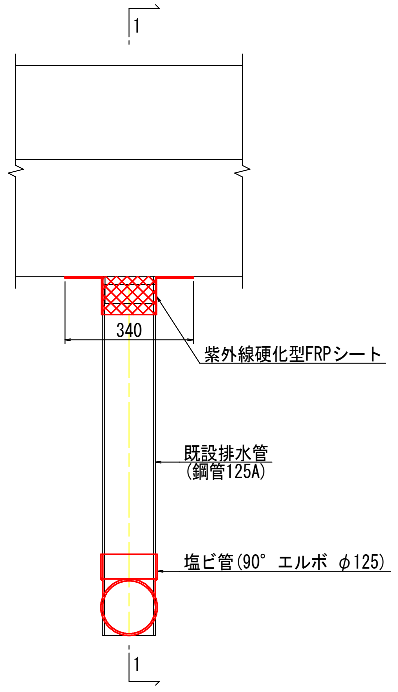
排水管補修工・水切り設置工

排水管補修工詳細図 S=1:10
N=2箇所

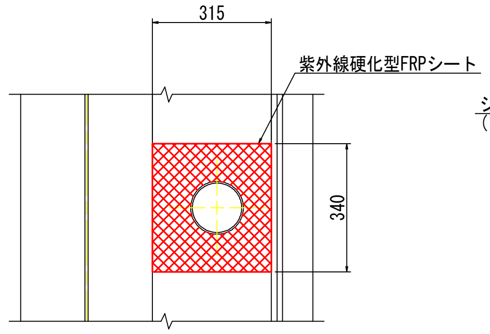
断面図(1-1)



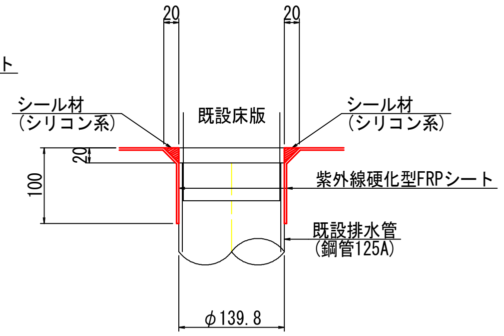
正面図(2-2)



平面図(3-3)

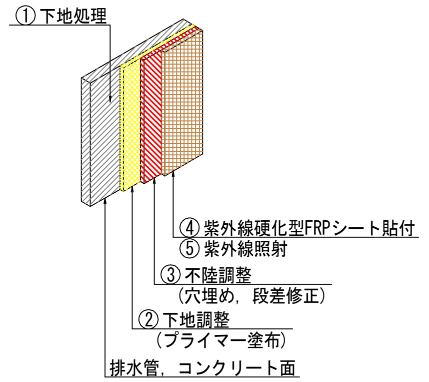


排水管頂部詳細図 S=1:5



紫外線硬化型FRPシート設置工

［紫外線照射あり］

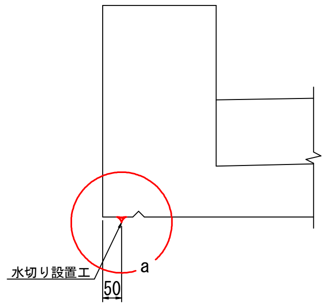


施エフロー図

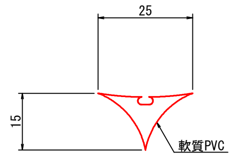
- 下地処理
  - ・ディスクグラインダー等により鋼板の錆を落とす。
- 下地調整(プライマー塗布)
  - ・塗布形素地調整軽減剤を塗布。
- 不陸調整(シールエ)
  - ・プライマー硬化確認後，角部にシールエを行う。
- 紫外線硬化型FRPシート貼付
  - ・紫外線硬化型FRPシートを貼付ける。
- 紫外線照射
  - ・紫外線照射器を用いて照射対象の 200mm以下まで近づけ20分間照射する。
- 仕上げ
  - ・不陸調整用パテによりシート端部処理を行う。

水切り設置工詳細図

設置位置断面図



水切り詳細図(a部)

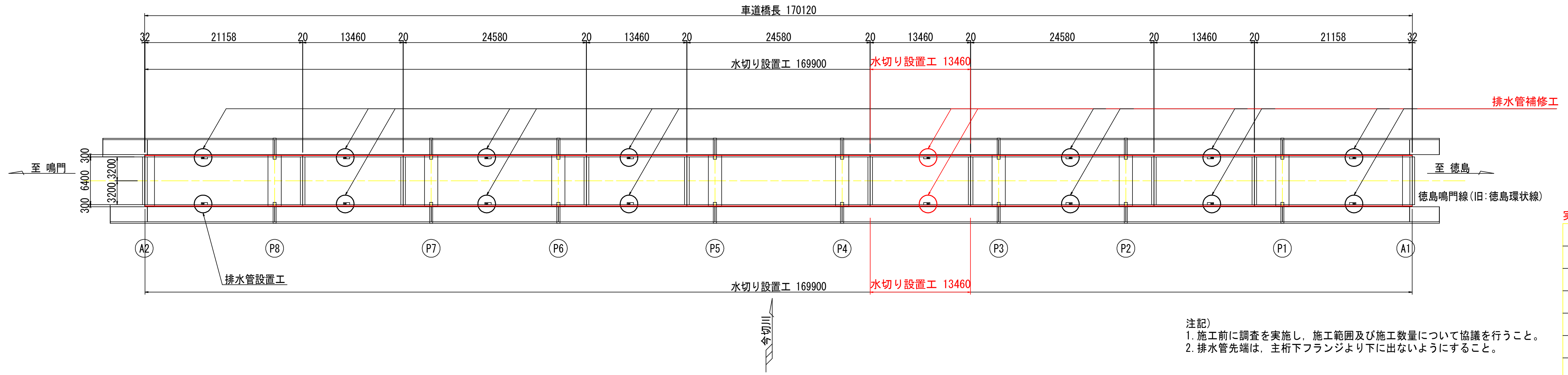


水切り設置施エフロー

- 貼り付け面清掃
- 専用接着剤(エポキシ樹脂)塗布
- 水切り貼り付け

注記)
水切りは上下流共に設置すること。

位置図(平面図) S=1:300



注記)
1. 施工前に調査を実施し，施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 排水管先端は，主桁下フランジより下に出ないようにすること。

実施設計図面

工事名	R7徳土 徳島鳴門線(鯛の浜橋) 徳・川内 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市川内町(鯛の浜橋)(第2分割)		
図面名	鯛の浜橋 排水処理補修工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	5 ／ 5
年度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		